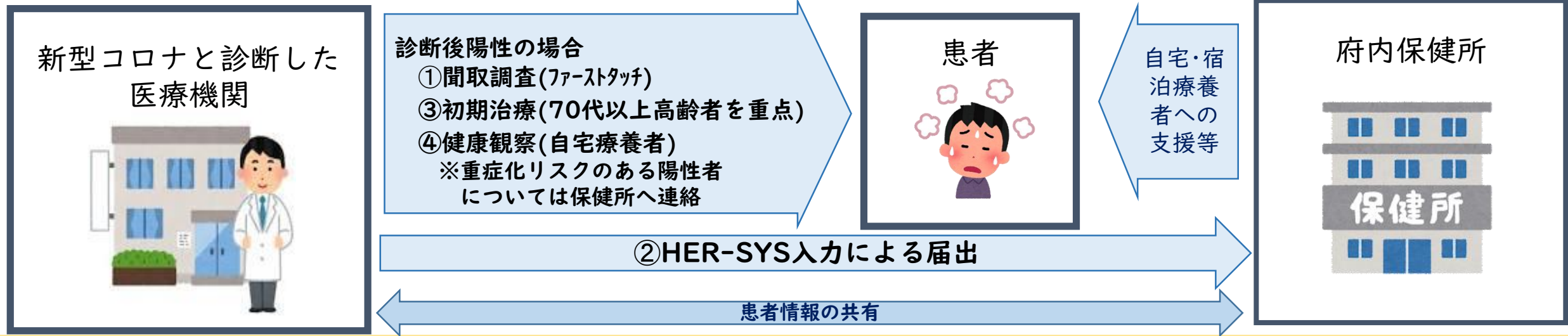


◆今後のさらなる感染拡大に備え、保健所を介さず診断した医師が患者管理の一連の対応を担う体制を構築する。



- 1 実施内容
- ①陽性者への聞取調査（ファーストタッチ）・・・症状、基礎疾患の有無、行動歴、濃厚接触者等
 - ②HER-SYSの入力業務・・・発生届をHER-SYSにより入力
 - ③初期治療・・・70代以上高齢者を中心に症状に応じた治療行為（抗体治療も含む）※保険診療
 - ④健康観察・・・療養期間中の陽性者の健康状態を確認
- ※受託医療機関は上記①～④を一括して実施。①②④は委託業務、③は保険診療として実施。

- 2 委託単価
- 【初期経費】HER-SYS導入に係る設備及び業務処理人員の体制整備費用等 ①早期実施(事業開始後1ヶ月まで) 30万円 (1回のみ)
 ※契約締結後、最初の実績患者発生時に算定 ②通常期実施(早期実施以降) 10万円 (1回のみ)
- 【運用経費】医療機関が陽性者に対し上記①～④の業務を実施する費用 @3,000円/人 (①～④(③は保険診療として実施)を一貫して実施)
 ※原則として、①～④までを一貫実施するものとして陽性患者1人あたりの経費として算定

3 予定委託期間 事業開始から2か月間を予定(体制導入・定着期間中委託)

- 4 想定支出上限
- 【初期経費】早期実施(事業開始後1ヶ月まで) @300,000円×府内診療・検査医療機関2,177×0.4 = 2.61億円
 通常期実施(早期実施以降) @100,000円×府内診療・検査医療機関2,177×0.6 = 1.31億円
- 【運用経費】陽性者数20,000件/日×60日×@3,000円×0.5 = 18.00億円 合計：21.92億円